

～心と心が響き合う～



令和 8年 1月 30日
道徳通信 No.9
道徳教育推進教師

○5年2組での『森の絵（よりよい学校生活、集団生活の充実）』の授業の様子

よりよい学校生活、集団生活の充実の視点

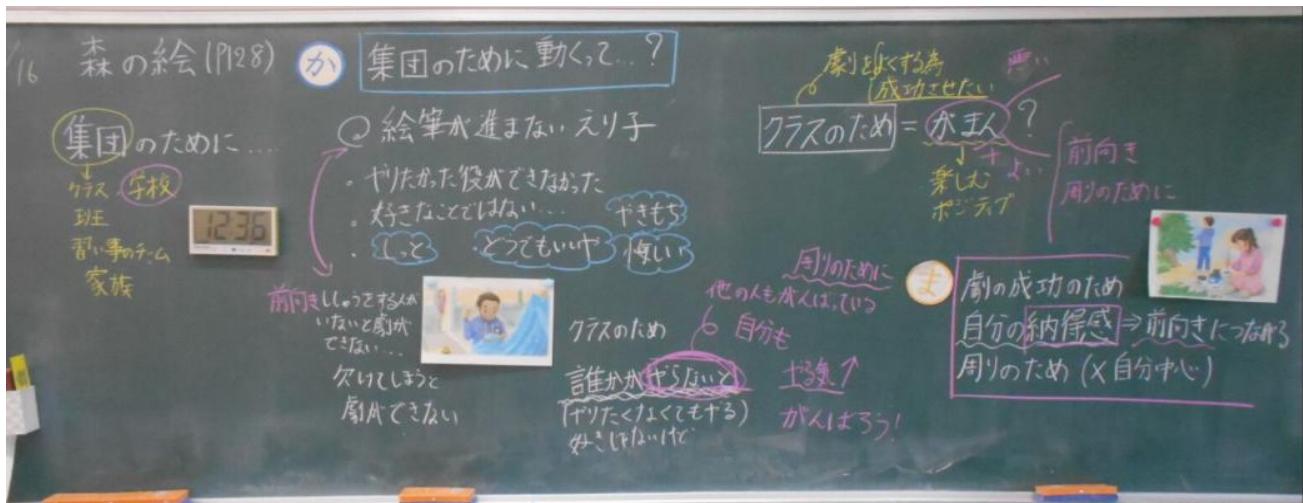
- ・集団の一員として自らの役割を果たそうと考え始めた主人公の思いについて考えているかという視点。
- ・学校や学級などの集団の一員として、役割の自覚と責任を果たすことの意義について、自分の経験を振り返りながら考えているかという視点。

節度・節制の目標

低学年・・・学校生活のきまりや約束を守り、友達と仲良くし、みんなで楽しく生活することの大切さに気づくこと。

中学年・・・学級や学校の一員としての自覚をもち、よりよい集団生活をつくるために自分から進んで行動することの大切さを理解すること。

高学年・・・学校生活や集団の中で自分の役割や責任を自覚し、よりよい学校生活を築くために主体的に考え、行動する態度を養うこと。



◎子ども達のふり返り

- ・集団のために、多少の我慢は必要かもしれないけれど、我慢の中に楽しさを見つけるとやる気も出る。
- ・集団のためは、「みんなの楽しい」や「みんなの嬉しい」のためといえる。
- ・自分が納得できて前向きに考えられている状態で、なにか小さいことでもすることが、集団のために動くということ。

